

2025 年 4 月 4 日

各位

住 所 東京都港区港南二丁目 15 番 3 号
会 社 名 NEC キャピタルソリューション株式会社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 菅 沼 正 明
役 職 氏 名 (コード番号：8793 東証プライム市場)
問 合 わ せ 先 コミュニケーション部長 是枝 孝彰
電 話 番 号 0 3 - 6 7 2 0 - 8 4 0 0 (代 表)

2025 年 3 月期社会貢献活動のご報告

当社は、グループビジョン「次世代循環型社会をリードする Solution Company」のもと、事業活動そのものが社会価値を創造すると同時に、企業として求めるべき経済価値を創出し、社会と企業双方に共通の価値を生み出す CSV 経営（Creating Shared Value＝共通価値の創造）を推進しています。

社会貢献活動は、社会課題解決に向けた社員のさらなる意識向上と当社の CSV 経営をより確かなものとするため、グループ全体で推進しています。

2025 年 3 月期に実施した主な社会貢献活動は、下記の通りです。

記

1. 2025 年 3 月期の主な活動

活動名	内容・寄贈先	テーマ	実績
マッチングギフト	① 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム 「能登半島災害支援 （地震・豪雨）」 ② 日本赤十字社 「令和 6 年 9 月 能登半島大雨災害 義援金」	「地域社会貢献」 「災害復興支援」	① 164,000 円 ② 401,276 円 合計 565,276 円 （内、会社拠出額 282,638 円）

わくわく 子どもの池 プロジェクト (※1)	ビオトープ造成 オンライン授業	「地域社会貢献」 「環境」「教育」	2 校 葛飾区立亀青小学校 墨田区立菊川小学校
リース終了 パソコンの寄贈	公益社団法人 リース事業協会 「リース終了パソコン 寄贈活動」	「地域社会貢献」	3 台
カレンダーの寄贈	社会福祉法人 港区社会福祉協議会 社会福祉法人 清瀬市社会福祉協議会	「地域社会貢献」	カレンダー・ 手帳 約 460 部
献血活動	日本赤十字社	「地域社会貢献」	26 名

2. NEC Make-a-Difference Drive (MDD) (※2) における活動

災害復興支援としてベルマーク（石川県）、国際交流支援として書き損じハガキ（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟）、使用済み切手（認定 NPO 法人地球の友と歩む会）、外国コイン（公益財団法人日本ユニセフ協会）、地域社会貢献として使用済みペットボトルキャップ（NPO 法人エコキャップ推進協会）の寄付を継続して実施しました。

以上

（※1）わくわく子どもの池プロジェクト：

従業員参加型の環境ボランティア活動。認定 NPO 法人アサザ基金の協力のもと、当社従業員を中心とするボランティアメンバーが、ビオトープ造成を希望する学校の児童・生徒への導入教育から子ども達と協力してビオトープ（生きものが棲める池等の場所）造成までを行っていく。

わくわく子どもの池プロジェクト情報発信サイト

<https://www.necap.co.jp/company/biotop/index.html>

（※2）NEC Make-a-Difference Drive (MDD)

1999 年、NEC 創立 100 周年を機に、「できることから少しずつ / Think Globally, Act Locally」をスローガンに、NEC グループ社員のボランティア参加による地域企業市民活動として開始。国連の「持続可能な開発目標 SDGs」とその方向性を同じくする NEC 2030VISION 実現に向け、本業と通じた社会貢献を進めるとともに、中長期的な社会課題解決に向けた企業市民活動を推進している。